

# くらよし

August  
2009

8

平成 21 年 8 月号

No.1374

まちづくりキャッチフレーズ **人と自然と文化がつくる「キラリと光る新中核都市」**



**自分たちの暮らしを  
自分たちで守るために！**

～第 54 回倉吉市消防ポンプ操法大会～

(詳細は、2～3 頁をご覧ください)

## C O N T E N T S

- 第 54 回倉吉市消防ポンプ操法大会 … 2～3
- はじめようリサイクル … 4～5
- 衆議院議員総選挙・  
最高裁判所裁判官国民審査 … 6～7
- 平成 20 年度財政概況報告 … 8～9
- 人事行政運営などの状況 … 10～11
- インフォメーション・プラス … 12～13
- インフォメーション … 14～21
- あんしんファイル/  
レッツ！介護予防 … 22～23
- 出かけてみよう … 24～25
- まちかどピンナップ … 26～27
- ハート・バリアフリー / 家庭教育 … 28
- 遙かな町へ / シナプロ韓国 … 29
- 若者の定住に向けて / 人口 … 30



# 第54回 倉吉市 消防ポンプ 操法大会

技術を磨き、  
士気を高める――

6月28日(日)、飛天夢広場(見日町／天神川左岸・竹田橋下流)において、第54回倉吉市消防ポンプ操法大会が開催されました。

消防ポンプ操法大会は、各地区の消防団員が、市民の生命や財産を守るため、安全・確実・迅速に消火活動を行うことができるよう訓練を重ね、成果を競うものです。

団員は、それぞれに自分の仕事を持ちながら、この日のために数か月前から厳しい訓練を重ねてきました。

梅雨の合間の厳しい日差しが照りつける中、17分団(ポンプ車操法の部4分団、小型ポンプ操法の部13分団)が参加しました。

各分団とも、指揮者の号令のもと、きびきびとした動きで、前方の火点として想定された標的に向かい、ホースを伸ばし、放水していききました。

また、この大会は、県大会への出場をかけた予選会も兼ねており、優勝した上井B分団(小型ポンプ操法の部)と関金第4分団(ポンプ車操法の部)は、7月





指揮者 副分団長 船越 昭人  
 1 番員 団員 眞壁 正樹  
 2 番員 団員 眞壁 春樹  
 3 番員 団員 河口 純太郎  
 補欠員 団員 門原 広憲

▼小型ポンプ操法の部  
 ・優勝 上井B分団



指揮者 部長 大江 博文  
 1 番員 団員 山方 圭一  
 2 番員 班長 小椋 千裕  
 3 番員 団員 小谷 本正  
 4 番員 班長 小谷 幸一  
 補欠員 班長 田中 賢延

・優勝 関金第4分団  
 ▼ポンプ車操法の部

■第54回倉吉市ポンプ操法大会成績

19日(日)に、鳥取県消防学校(米子市)で開催された第55回鳥取県消防ポンプ操法大会に出場しました。上井B分団が第6位に入賞するなど、これまでの訓練の成果を十分に発揮していました。

# 混ぜれば「ごみ」…

ほうきリサイクルセンターで、焼却処分される可燃ごみ

はじめよう  
リサイクル

# 分ければ資源

古紙回収され、Kセンターで分別された新聞紙など

## 「循環型社会」へのキーワード 3Rを実践しましょう！

### リデュース (Reduce)

物を大切に使い、ごみを減らすこと (発生抑制)

### リユース (Reuse)

使える物は、繰り返し使うこと (再使用)

### リサイクル (Recycle)

ごみを資源として、再び利用すること (再生利用)

「循環型社会」を目指して  
私たちの毎日の生活から排出されるごみの中には、まだ十分に使えるもの、資源として再利用できるものが含まれています。  
ごみの排出を抑えることはもちろんですが、再利用可能なものをリサイクルすることは、限られた資源の有効活用、環境保全を実現するために有効な手段です。  
倉吉市では、そのような「循環型社会」を目指し、「混ぜればごみ、分ければ資源」を合言葉にして、ごみの減量とリサイクルを推進しています。

Kセンターに集められ、分別されたダンボールは機械でまとめられ、リサイクルへと進みます。



ほうきリサイクルセンターを見学する親子。自分たちが出すごみがどのように処理されるのか、どうしたらもっとごみを減らすことができるのか話し合います。

# 廃棄物処理施設を見学しました。

ごみは、収集日に出すと、もう私たちの目に触れることはありません。しかし、廃棄物処理施設に集められたごみは、たくさんの処理が施され、さまざまに姿を変えていきます。

7月4日(土)、廃棄物処理施設見学ツアーが開催されました。ごみ処理やリサイクルの過程を見学し、改めて家庭でのごみ処理やリサイクルについて見つめ直す機会になりました。

## リサイクル・ごみ出しのツボ

～施設長に聞いてみよう～

野島 善弘さん

(Kセンター工場長)▶

「リサイクルの基本は、『分別する』ということ。きちんと、細かく分別すればするほど、リサイクルの幅は広がっていくんです。倉吉市でももっと細かく分別してもいいと思いますよ。缶類・プラスチック類などには、素材が明記してあるのでよく確認して、分別してください」



◀松本 秀樹さん

(ほうきリサイクルセンター所長)

「最近、スプレー缶のガスは、環境に配慮され(二酸化炭素削減)、フロンガスからLPガスに変わってきています。これは、爆発する危険が高くなったことも意味しています。不燃ごみは絶対に混ぜないで、缶類に出してください。あと、生ごみの水切りは減量化のためにもしっかりとお願いします」

## 夏の「ごみ」の出し方

### ●お盆のごみ収集について

8月13日(木)、14日(金)、15日(土)は、ごみ収集を休業します。お盆の精霊送りの供え物の河川投棄は、河川が汚れる原因になります。供え物は、看板が設置してある場所に、8月15日(土)深夜(16日(日)午前1時)までに、まとめて出してください。

### ●生ごみの処理について

夏季を迎え、生ごみをごみ置場に長時間放置すると腐敗しやすく、悪臭や害虫が発生するなど不衛生です。

- ・生ごみは、十分水切りをする。
- ・指定ごみ袋の口は、しっかりと結ぶ。
- ・収集日前夜に出す。



### 3枚以内の瓦を不燃ごみで収集します

瓦は、3枚以内の少量に限り、不燃ごみで収集することになりました。

3枚より多く瓦を出す場合は、専門業者に処分を依頼してください。

### 『不法投棄』ゼロをめざして

7月8日(水)、不法投棄が発生していた「林道田谷・広瀬線」沿線の住民で組織する「緑を守り育てる会」と、市、県が一緒になり林道沿いの清掃作業を実施しました。

家庭ごみ・家電・自転車・衣類・タイヤなど、2時間足らずで回収したごみの量は620kgにもなりました。

倉吉市の豊かな自然環境を次の世代に引き継ぐためにも、『不法投棄』を「しない」さ

せない「許さない」環境づくりを、市民の皆さんと連携して推進していきますので、ご協力をお願いします。



▲清掃作業の様子